

アドミッションポリシーから見る 本来の入試のあるべき姿とは

～実りある大学入試改革に向けて～

日時

2020年2月29日(土)

14:00~17:30

会場

AP 大阪梅田東

(大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル 5F)

最寄り駅: JR「大阪駅」下車 御堂筋南口より
徒歩約9分、大阪メトロ 谷町線「東梅田駅」徒歩4分

会場へのアクセス



参加無料
定員60名(要事前予約)



基調講演

大学入試のあるべき姿とは -首都大学東京を例に-

2020年度入試は混乱の中、英語4技能、記述式が延期となった。本来は教育改革のための入試改革であったのだが、主題は取り残され、高校や大学も入試改革のみに翻弄された。社会も入試のみに注目し、教育改革へは全く焦点を当てることなく議論を進めた。時代が変われば子供達に求められる能力も変わる。もはや入試だけで高校と大学の接続を考える時代ではなく、入学もゴールではない。大学は入学後の学びと結びつけながら大学入試を考える時代となった。

- 1 なぜ教育改革が必要か
- 2 首都大の入試改革
- 3 入学後の学び この3点を中心にお話いたします。

川上 浩良氏

(公立大学法人首都大学東京 学長補佐、都市環境学部 環境応用化学科 教授、
水素エネルギー社会構築推進研究センター 副センター長)

グループワーク

パネルディスカッション

《主催》 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪
《後援》 大阪府教育委員会・大阪市教育委員会

詳しくは裏面をご覧ください。



詳しい情報はWEBでCHECK!

2019年度 高大連携フォーラム
「アドミッションポリシーから見る本来の入試のあるべき姿とは」
～実りある大学入試改革に向けて～

大学コンソーシアム大阪では、3年間にわたり「大学入試改革」をテーマに、高大の教職員による「学力の3要素」の評価に関する勉強会や高大における「eポートフォリオ」の活用方法についてのフォーラムを開催し検討を重ねてきた。
今回はその集大成として、30年ぶりの「大学入試改革」を目前に控え、アドミッションポリシーに立ち返りながら本来の入試の在り方や、実りある入試改革に向けて、いま高大が何をすべきかについて参加者の皆様と共に考えたい。

●プログラム（予定）

時間	内容
13:30～	受付開始
14:00～14:05	◇開会挨拶
14:05～15:05	◇基調講演 「大学入試のあるべき姿とは -首都大学東京を例に-」 川上 浩良氏（公立大学法人首都大学東京 学長補佐、都市環境学部 環境応用化学学科教授、水素エネルギー社会構築推進研究センター 副センター長）
15:05～15:45	◇グループワーク（意見交換） 参加者間による意見交換（30分）および発表（10分） ※基調講演の内容を踏まえ、グループに分かれ、意見交換を行います。
15:45～15:55	休憩
15:55～17:25	◇パネルディスカッション（90分） 川上 浩良氏（上掲） 池田 千恵子氏（大阪成蹊大学 産官学連携センター センター長、 教育研究支援部 部長、マネジメント学部 准教授） 品川 哲彦氏（関西大学 地域連携・高大連携センター センター長、文学部 教授） ファシリテーター： 大澤 茂男氏（大阪青山大学 副学長、健康科学部 学部長・教授）
17:25～17:30	閉会挨拶

申込について

申込締切

2020年2月21日（金）

下記リンク先のフォームからお申し込みください。

申込方法

<https://bit.ly/33zSJvv>

* 大学コンソーシアム大阪からの返信メールが届いた時点で完了となります。

* 入場整理券は発行いたしませんので、当日はそのままお越しください。



問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-200 大阪駅前第2ビル 4階

TEL:06-6344-9560（平日 9:30-17:30）

E-mail: koudai@consortium-osaka.gr.jp

URL: <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>